

秋川檜原ヒドンロックス ビジブルフェイス

2017.12.16 retK

ここは昔、秋川の奥に開拓したヒドンロックスの中で、手を付けず残っていた岩であるが、実は当時、上にアンカーを1本埋めたが、ルートにするには高さがないので、どうしようか迷っているうちにそのままになってしまった経緯がある。

最近になり、冬に温かく登れるところはないかと考えるうちに、ここを思い出し、アメリカ淵のゲムロックを登った際に見に行ってみた。思っていたよりも岩は汚れておらず、6m程とちょっと高さはあるが数本は課題ができそうであった。その後、ギックリ腰になってしまったため、トライまでに暫く間が空いたが、日当たりが良く、アプローチも至近距離なので、腰の状態が幾ばかりか回復してきた頃、掃除をして、ボルダーとしてトライしてみた。

岩質はチャートでほぼ垂直だが、部分的にハングしているところもある。浮石は落としたので概ねしっかりしているが、全くないという確証はない。上部に苔が沢山ついていて、フェイス部分には殆どついていなかったの、夏季以外の乾きは良いと思われる

アクセスは障子岩と同じで、五日市から本宿を経て北秋川を神戸入口まで行き、神大橋の手前を神戸方面に右折し、最初の橋を左折し林道に入る。駐車スペースとアプローチは地図を参照。林道を進んで、右上に岩が見えたら適当に登れば岩の下に着く。

なお、林道のカーブのところに、キャンプ場だった頃の古い小屋があり、中に多量のゴミが捨てられていたので、大方持ち帰って処分した。昔、障子岩やヒドンロックスを開拓した頃にも、同じように多量のゴミが捨てられていてきれいにしたことがあるが、捨てられていたものを見ると、ホームレスが捨てたような雰囲気があった。最近捨てられたものではなかったが、不審者のようなものがあるかもしれないので、近くの駐車スペースには車を置かないほうが良いかもしれない。



《課題紹介》

左:正面 右:カンテの右側

青ライン(カンテ)は正面の青ラインと同一ライン

課題は、全て内容的には異なり、高さがあって緊張感があるので楽しめるが、ハングを越えていくようなパワフルな課題はない。

ピンクラインは出だしでのみ左の岩の使用可。

赤ライン(課題名:美人ぶるのが目に見える)は全体的にバランスが悪く、上部で左のフェイスに出て直上する。カンテは使用可だが、カンテ右のフェイスを登る。

黄色ライン(課題名:ユーフォリア)は左手はフィンガーのサイドプル、右手はちょっとした三角形のホールドでスタート。赤ラインのガバっぽいホールドは使わず、上部のガバに出てフレーク状のクラックを直上。

オレンジライン(課題名:ライジング・サン)はジェードルで最後は少し右から抜ける。

水色ラインはSDでスタートし、カンテ左のフェイスのフレーク状ガバを繋げて直上。

青ライン(課題名:ダンシング・ヒーロー)はSDスタートだが、ムーヴが分かると意外と簡単。

黄緑ラインは難しくはないが、下に岩があるので注意が必要。

高さがあるので、トッパーで遊んでも十分楽しめる。支点は上の木が使用できる。長めのスリングがあると、セットする上で都合が良い。

